

小學
中等科

修身格言

林昇校閱
今井匡之編輯

六

175
7
293

館籍會育教本日大			
冊	四 六冊	三 四號	一 八函
東		新書門	

K

學齋林昇校閱
鳳岡今井匡之纂輯
第六卷

小學修身格言 中等修身格言

明治十六年十月
第三日版權免許

井洌書屋

小學修身格言
中等修身格言
言目次

通教第一
學術第二
善道第三
戒慎第四
禮讓第五
君臣第六

父子第七
夫婦第八
長幼第九
朋友第十

目次終

小學
中等科
修身格言卷之六

學齋 林 昇 校閱
鳳岡 今井匡之纂輯

通教第一

○欲修其身者先正其心

身ヲ慎ニ行狀ヲ正シクセント欲セバ第一

二私情私慾ヲ去テ心ヲ正直ニ持ツベシ

○豹死雷皮。人死雷名。五代史

豹ハ死シテモ其皮ノ美麗ナルヲ以テ人之ヲ愛玩ス人モ才能アレバ死シテ後チ其名ハ後世ニ遺ル者ナリ

○美不自美。因人而彰。韓昌黎集

美事アレバ己之ヲ隱スト雖モ人必ス之ヲ賞揚シテ世上ニアラハス者ナリ

○蓬生麻中。不扶自直。說苑

麻ノ中ニ生ヘシ蓬ハ自ラ眞直ナリ人モ善良ノ人ニ交レバ必ズ正直トナル故ニ君子ハ其友ヲ擇ブ

○白砂入泥。與之皆黑。同

白キ砂モ黒キ泥ト交ジレバ自ラ染マルナリ人モ惡人ト交レバ自ラ惡ニ染ムモノナリ慎ム可シ

○求^ル以^テ其^ノ道^ヲ則^チ無^シ不^レ得^同

凡^ニテ何物ニテモ之ヲ得ント欲スルニ道理ヲ以テ求ムレバ必ズ得ルナリ若シ非道ヲ以テセバ之ヲ得ルモ保ツコナシ

○爲^ス以^テ其^ノ時^ヲ則^チ無^シ不^レ成^同

如何ナル難キコニテモ之ヲ爲サント欲セバ怠ラズ勉強シテ其好キ時節ヲ待ツベシ必ズ成就セザルコナシ

○泰^ニ而^レ不^レ驕^ラ威^ニ而^レ不^レ猛^多
論語

安泰ニ不足ナキ身分ナリ凡人ニ對シテ驕リタカブラズ威儀嚴カナレ凡人ガ親シミ近ヅクヤウニアル可シ

○其^ノ身^ヲ正^シ不^レ令^セ而^レ行^同

譬^ハバ家ノ長タル者身ノ行狀正シキトキハ家内ノ者其指揮ヲ待タズシテ何事モ能ク行キ届クモノナリ

○智者知人又自知

孔子家語

智者ハ能ク人ノ善惡正邪ヲ知リ又自身ノ得失ヲ知ル者ナリ

○仁者愛人又自愛

同

仁者ハ能ク人ヲ親愛シ又自ラ慎ミ其身ヲ愛シテ能ク保ツ者ナリ

○羊質虎文見豺則恐

後漢書

見カケハ美服ヲ著テ虎ノ如ク猛ク見ユレ氏内心羊ノ如ク怯ニメ豺ノ如キ人ヲ見レバ忽チ恐ル、者アリ甚タ羞ツ可キナリ

○欲人勿知莫若勿爲

說苑

人ヲシテ知ラザラシメント欲セバ其事ヲ爲サヌヨリ外ナシ凡テ爲ス事ハ何ヤウ隠ス氏人ノ知ルモノト思フ可シ

○欲人勿聞莫若勿言

同

人ヲシテ聞カザラシメント欲セバロニ云
ハヌヨリ外ナシ言フタノハ必ズ人ノ耳ニ
入ルモノト思フ可シ

○用之則爲虎不用則爲

鼠文選

人才能アリ之ヲ知リテ用ウル人アレバ勢
ヒ虎ノ如クナルベシ若シ之ヲ用ウル者ナ
キハ鼠ノ如ク隠レテ現レズ

○酒飲微醉花看半開劔掃

酒ハ程ヨク酔フトコロガヨシ花ハ開キ切
ラヌ時ガヨシ凡テ物事ハ十分ナレバ損ヲ
招クモノナリ

○不義而富且貴於我如

浮雲論語

道理ニ協ハヌ一ニテ有福トナリ且ツ貴キ

身分トナルモ浮キ立ツ雲ノ如クニテ甚ダ
危キモノナリ

○死生有命。富貴在天。同。

人ノ死生ハ素ヨリ天命ニ任ス故ニ善道ヲ
行フ者ハ天ノ惠ミヲ受テ長命富貴ナルベシ

學術第二

○水積成淵。學積成聖。葛氏外傳

涓滴ノ水モ積レバ遂ニ深淵ヲ爲ス學問モ
次第ニ積レバ遂ニ聖賢ノ人ト爲ル

○不求多積。多文以爲富。孔子家語

學者ハ財貨ヲ多ク積ンテ富ムヲ求メズ
文學ヲ多ク積ムヲ以テ富ト爲ス

○務學不如務求師。揚子法言

學問ヲ爲スハ務メテ良師ヲ求ムルニ勝ル
ヲナシ獨學ハ見聞スクナクシテ上達スル

一能ハス

○不學而求智猶羨魚無

網抱朴子

學問セズシテ智慧ヲ得ンヲ求ムルハ猶
ホ網ナクシテ魚ヲ捕ント欲スルガ如ク到
底得ルヲ能ハザルナリ

○遺子黃金滿簞不如一

經漢書

子孫ニ遺シオクニ箱ニ滿ルホドノ黃金ヲ
以テスルヨリ一卷ノ經書ガマサレリ何ト
ナレバ金ハ散シ易シ學カハ散ズルヲナシ

○筆耕爲養傭書爲學同

貧窮ニシテ學問ニ篤キ者ハ人ノ爲メニ字
ヲ寫シ或ハ書物ヲ借讀スル爲メニ雇人ト
ナリ遂ニ博學ノ士トナル者アリ

○篤信好學守死善道論語

篤クカ信シテ學問ヲ好ミ死節ヲ守リテ志ヲ堅フシ善ク其道理ヲ守ルベシ

○借人典籍皆須愛護顏氏家訓

人ノ書籍ヲ借ル片ハ須ク之ヲ大切ニ取扱ヒ讀ミ畢ラバ速ニ返卻スベシ

○獨學而無友則孤陋而

寡聞禮記

學問ハ獨學ニテ師友ナキ時ハ共ニ琢磨スルヲ能ハズ故ニ其學問狹クシテ見聞スクナキ者ナリ

○人之於文學也猶玉之

於琢磨荀子

人ノ學問スルハ猶ホ玉工ノ璞ヲ琢クガ如

シ勉強シテ怠ラザレバ日マシニ光澤ヲ現
ハス者ナリ

○時過^{キナ}然後^{キナ}學^ベ則^チ勤^シ苦^シ而

難^シ成^リ
禮記

學問ハ少年ノウチニ學バス壯ニシテ之ヲ
學バントスレバ勤苦スレモ上達ナシ難シ

善道第三

○積^ス善之家^ニ必有^リ餘慶^{易經}

常ニ善徳ヲ積ミテ人ヲ救フノ家ニハ必ズ
餘分ノ慶福アル者ナリ

○楚國^ニ無^シ以^テ爲^ル寶^ト惟^ク善^ニ以^テ

爲^ス寶^ト
大學

楚ト云フ國デハ國王ガ明君ニテ金玉ヲバ
寶物トセズ惟^ク善人ヲ以^テ寶物ト爲ス

○施惠無念受恩莫忘朱子格言

人ニ施シ惠ム氏必ス其返報ヲ念フナ勿レ又恩ヲ受ケシハ決シテ忘ルナカレ

○與善人居如入芝蘭之

室孔子家語

善人ト同ク居レバ芝蘭ノ善キ薰リスル部屋ニ入ル如ク其善キ薰リガ身ニ染ミテ終

ニ知ラズ識ラズ善人トナルナリ

○與不善人居如入鮑魚

之肆同

不善人ト同ク居レバ鹽漬魚ノ店ニ入ル如ク始メハ其臭ミヲ知レ氏終ニ不善人トナリテ其臭ミヲ知ラヌガ如シ

○善若水水善利萬物而

不爭

老子

善行ヲ爲ス一譬ヘバ水ノ如シ水ハ善ク萬物ニ利益ヲ與フル者ナレ凡決シテ物ト逆ラヒ爭フコナシ

○聞善必躬親行之然後

道之

說苑

善行ヲ聞ケバ身自ラ其事ヲ實地ニ行ヒ而

シテ後ニ人ヲ導クハ人必ズ其善行ニ順服スル者ナリ

○善欲人見不是真善

朱子格言

善行ヲ爲ス凡人ニ之ヲ見セント思フハ是レ真ノ善行ト云フ者ニ非ズ人知レズ行フヲ真ノ善ト云フ

○福善之門莫美於和睦

凡テ一家ハ和合スルヨリ善キハナシ史記福德

慈善ノ家ハ親睦シテ能ク治マル者ナリ

戒慎第四

○般樂怠傲是自求禍也。

遊樂ヲ事トシ怠惰ニシテ傲慢ナル者ハ必
ズ困難ニ陷ルベシ是レ自ラ招クノ禍ナリ

○人無躋於山而躋於垤。

人_ト大山ノ峻岨ニ躋カズ及テ平地ノ小ナル

蟻塚ニ躋ク_トアリ凡_ヘテ事ハ小事ヲ慎マザ
レバ及テ大害ヲ來ス_トアリ

○有鄙心者不可授便勢。

凡_ニテ野鄙ナル心ノアル者ニ便利ナル權勢
ヲ與フベカラズ必ズ奸惡ヲナシ公益ヲ害
スル者ナリ

○有愚質者不可與利器。

愚鈍ナル性質ノ者ニ便利ナル短銃利劍_同ノ

如キモノヲ與フベカラズ必ズ人ヲ傷ケ大ナル害ヲ爲ス者ナリ

○莫見乎隱莫顯乎微中庸

己獨リ暗キ處ニ隱レ居テ微細ノヲ爲ス氏必ズ人之ヲ知リテ世ニ明カニ現ハレヌヲナシ故ニ克ク其獨ヲ慎ムベシ

○知足不辱知止不殆老子
人ハ凡テ十分ナルヲ知リテ之ヲ慎メハ

恥辱ヲ受クルヲナク又至善ノ地ニ止ルヲ知レバ其身危ウカラズ

○勿逞怒以報橫逆朱子格言

橫道ナル暴逆ノ者ト爭ヒ血氣ノ怒リヲ發シ前後ヲ忘レテ亂暴ニ及ブ片ハ同ジク暴逆ノ徒ナリ

○堤潰蟻穴氣洩鍼芒後漢書
千丈ノ堤モ蟻ノ穴ヨリ壞レ始マリ充滿シ

夕氣モ針ノ穴ヨリ洩レ出ヅ凡テ事ハ微少
ノウチニ慎マザレバ終ニ大ナル害アリ

○衆口鑠金積毀銷骨史記

衆多ノ人ノ言フハ勢ヒ金ヲ鎔スガ如ク
讒言モ段々積メバ勢ヒ骨ヲ消ス如シ恐レ
戒ムベシ

○人有小過含容而忍之朱子家訓
人タル者少シノ過チアルモ直ニ之ヲ責ム

可ラズ含ミ宥シテ堪忍スベシ

○以明防前以智慮後晉書

目前ノ禍ハ明カニ視テ之ヲ防ゲモ後口ニ
見エヌ禍ハ智慮ヲ以テセザレハ防クニ能
ハズ是レ慎ミノ肝要ナリ

○勿談人之短勿矜己之

長朱子家訓

人ノ不肖ヤ不得意ナルヲ決シテ人ニ語
ルヲ勿レ又己才能アリ臣人ニ向テ矜リタ
カブルヲ勿レ

○衣錦尚絅惡其文之著

也。詩經

人ノ心ハ凡テ錦ヲ著テ其上ヘニ麻織リノ
衣ヲ著ル如ク心ノ内ノ錦ヲ表ヘニ飾ラヌ
ヤウニ爲スベシ

○病加於小愈禍生於懈

情。說苑

凡テ病氣ハ少シ愈エカ、ルキ油斷シテ再
ビ重クナリ禍ハ心ノ怠惰ヨリ起ル者ナリ

○爲山九仞功虧一簣書經

高山ヲ作ルニ一ツノ土籠ヲ以テ積ミ上ゲ
半途ニシテ一籠不足セバ成就セヌノミナ

ラズ前キノ辛勞マデ併セテ棄ツルナリ故
ニ凡テノ事ハ能ク終リヲ全フスベシ

禮讓第五

○齊明盛服非禮不動カ。論語

齊明ニシテ内ヲ齊ヘ盛服シテ外ヲ謹ミ動
クニハ必ズ禮義ヲ以テスベシ

○過闕則下過廟則趨漢書

御所ノ前ヲ通行スルキハ車ヨリ下リ又御
靈廟ノ前ヲ通行スルキハ車ヲ趨ラスベシ
是レ古ヘノ禮ナリ

○齊之以禮有恥且格論語

凡テ人ヲ一齊ニ教ヘ導クニ禮ヲ以テスレ
バ人己ノ不善ヲ恥チテ其行ヒ良善ニイタ
ルモノナリ

○教小兒先要安祥恭敬横渠語錄

幼稚ノ者ヲ教ヘ導クニハ先ツ安泰善行ヲ以テシ且ツ恭敬ニシテ輕卒ナラザルヲ肝要ト爲ス

○禮聞來學義不聞往教禮記
學問スル者師友ノ處ヘ來リテ學ブハ禮ニ叶ヘ氏師友ヨリ往キテ教フルハ義ニ叶ハヌナリ

○貧而樂富而好禮論語

貧窮ナル片ハ諂ヒ貪ラズシテ道理ヲ行フヲ樂シミ富有ニシテハ好ンデ禮節儀式ヲ重ンズベシ

○推賢讓能庶官乃和書經

禮ヲ以テ賢人ヲ推シ敬ヒ讓ヲ以テ能者ニ謙遜スル片ハ諸ノ官吏ミナ和睦シテ能ク治マルモノナリ

○功被天下守之以讓孔子家語

功勞天下ニ隱レナキ者ニテモ守ルニ禮讓
ヲ以テ之ヲ人ニ讓レバ功名マスク顯レ其
身危キコトナシ

○禮讓爲國仁義爲家揚子法言

國家ヲ治ムルニ禮讓仁義ヲ以テ專ラトス
ルトキハ上下和睦シテ四海ノウチ靜謐安
寧ナリ

君臣第六

○宣君德以弘大其化忠經

人臣タル者ハ君主ノ盛德ヲ宣ベ揚ゲテ其
德化ヲ天下ニ廣クオシ弘ムベシ

○人臣以忠信善道結於

君心近思錄

人臣タル者君ノ信任ヲ得ント欲セバ質直
ニシテ忠義信實ヲ主トナシ能ク其君ニ奉

仕スベシ

○賢臣盡忠則君德廣忠經

賢キ臣下其君ニ仕ヘテ忠義ヲ盡ス片ハ其君德マスク盛ンニシテ廣ク天下ニ行ハル者ナリ

○君雖不君臣不可以不

臣孝經序

國山經訓

君主ハ臣下ヘ對シ非道ニシテ恩惠ナシト雖モ臣下ハ臣タルノ道ヲ盡シ忠義ノ心怠ルベカラズ

○臣以下無非其君爲忠後漢書

人臣ノ務メハ下ニ居ル者其君主ヲシテ誹謗スルコナカラシムルヲ以テ忠義ノ臣ト爲スナリ

○事聖君者有聽從無諫

爭

諸子彙函

聖君明主ニ仕フル臣下ハ君ニ於テ聊カモ
過失ナキユエ惟君ノ仰セラ聴キテ服從ス
ルノミ諫メ争フ所ナシ

父子第七

親親之恩莫重於孝

漢書

人タル者親愛ノ恩義ハ父子ヨリ始マル故

ニ孝道ヨリ重大ナルモノハナシ

父有爭子則身不陷不

義

孝經

不善ノ父ニテモ其子ニ孝行ヲ盡ス者アレ
バ其不善ヲ諫メ争ヒ父ヲシテ不義ニ陷ラ
シメザルモノナリ

嚴父出孝子嚴母出巧

女

明心寶鑑

教ヘヲ嚴シクスル父ハ孝行ノ子ヲ出シ教ヘヲ嚴シクスル母ハ裁縫ナドニ巧ミナル女ヲ出ス

○事親者居上不驕爲下

不亂

孝經

善ク父母ニ事ヘテ孝行ナル者ハ貴キ身分

ニナリテモ驕リタカブラズ賤キ身分トナリテモ敬禮ヲ亂サズ

○身也者父母之遺體也

己ガ身體ハ父母ヨリ賜ハリシ者ユエ父母存生中ハ勿論父母歿シテ後チハ猶サラ能其身ヲ大切ニ守リテ毀リ傷ツケザルヤウ慎ム可シ

○二諫而不聽則號泣而

隨之同

子タル者父母ヲ諫ムルニ三たび諫メテ聽
キ入レザレバ泣キ叫ンデ之ニ隨フト雖モ
尚父母ヲシテ悟ラシムベシ

○父子之間大率以情勝ツ

禮近思錄

父子ノ間ダ多クハ私情ニヨリテ父ハ親愛

ニ泥ミ子ハ恩愛ニ狎レ敬禮ヲ失フ者アリ
是レ甚ダ人道ニ背ク者ナリ

夫婦第八

○夫婦人倫大綱夭壽之

萌チリ。漢書

夫婦ハ人倫ノ大切ナル道ナレ氏男女安リ
二年少キウチニ婚姻ナシ氣血定ラズシテ

爲メニ夫死ヲ招クコアリ

○無別無義禽獸之道也。

夫婦ノ間ダ別ヲ正シクセズ禮義ナキモノ
ハ人倫ノ道ニ外レタル鳥獸ニ等シキ行ヒ
ナリ

○婦者家之所由盛衰也。

人ノ妻タル者ハ家内ヲ守ル者ユエ其善惡
正邪ニ因テ其家マス盛トナリ亦衰微

ニオモムク者アリ

○婢美妾嬌非閨房之福。

腰モト女ヤ妾ノ餘リ美麗ナルハ部屋ノ内
ノ慶福ニアラズ但其心ノ正シキ者ヲ擇ブ
ベシ美醜ヲ擇ブベカラズ

○婚娶而論財夷虜之道

也。
文中子

婚姻ヲ爲スニ財貨ノ多少ヲ論シテ縁組ヲ爲スハ夷狄野蠻ノ道ナリ但男女ノ賢愚ヲ論シテ縁組ヲ爲スベシ

○父母舅姑之命勿逆勿

怠ケ。禮記

夫妻タル者ハ父母ヤ舅姑ノ命令ハ何事モ逆ラヒ背クコナク且ツ其命ヲ受ケテハ必ズ怠ルコナカレ

長幼第九

○疾行先長者謂之不弟ト。

疾ク歩行ミテ長者ノ先ヘ立ツハ長幼ノ序ヲ亂リ敬禮ヲ失フモノナリ

○兄弟不睦則子姪不愛セ。

兄弟ノ間ダ親睦セザルハ其子ハ互ニ相愛セズ子姪ノ世ニナリテハ遂ニ他人ノ如

顏氏家訓

ク疎絶スル者ナリ

○兄弟雖有小心不廢懿

親左傳

兄弟タル者不幸ニシテ怨ミ怒ルコアリト
雖モ眞ノ親愛ハスタラヌ者ユエ和合セシ
後ハ互ニ忘ル、者ナリ

○有德者年雖下於我我

必尊之朱子家訓

學術ヤ德望ノアル者ハ我ヨリ年齡下ナリ
ト雖モ之ヲ尊ヒ敬フベシ

○不肖者年雖高於我我

必遠之同

不學無能ニシテ物ノ數ニモ足ラヌ者ハ我
ヨリ年齡ハ上ナリト雖モ敬マフニ及バズ

必ズ之ヲ遠ザクベシ

○人家兄弟不和皆起於

婦人語鏡

凡テ同居ノ兄弟不和ナル始メハ必ズ其兄
嫁ト弟嫁ト互ニ其夫ニ讒告スルヨリ起ル
モノナリ

朋友第十

○交友忠而不反背面韓昌黎集

朋友ノ交リハ忠信ヲ主トシ若シ過チアレ
バ互ニ之ヲ忠告シ或ハ面爭シ必ス影日向
アル如キ背面ノ交リヲ爲ス可ラズ

○君子交絶不出惡聲史記

君子ハ朋友ト不和ヲ生シ交リヲ絶ツニ必
ズ喧噪ナル暴言ナドヲ發スル一ナシ小人
ハ暴論惡聲ヲ發シテ後チ絶交ス

○他山之石。可以攻玉。

讀書錄

玉ハ美質アレ氏玉ト玉トヲ摺リテハ玉ヲ成サズ故ニ石ヲ以テス人モ石ノ如キ小人ト交ル氏染ラザレバ及デ己ガ光リヲ増ス

○二人同心。其利斷金。

易經

信友共ニ心ヲ合セカヲ協ス一ハ譬ヘバ其勢ヒ鋭キ一金鐵ヲ切り斷ツ如シト故ニ信實ノ朋友ヲ斷金ノ友ト云フ

○同心之言。其臭如蘭。

同

信友志ヲ堅クシ心ヲ合セテ言フ一ハ善美ナル一譬ヘバ芝蘭ノ薫リアルガ如シ

○有爭友。則身不離於令

名。

孝經

朋友ノウチニ頗ヲ犯シ爭フテ以テ忠告スル者アレバ過ヲ改メ非ヲ悔エ故ニ其身

善良ノ名ヲ失ハズ

○以財交者財盡而交絶

富有ノ人多ク財貨ヲ所持スルヲ見テ之ト
交リヲ結ブ者ハ其人財盡キ困窮スレバ必
ズ其交リヲ絶ツモノナリ

○以色交者華落而愛渝

美色ヲ見テ交リヲ結ブ者ハ其色衰フルニ
至レバ愛情カハル者ナリ

○乃知擇交難須有知人

明
白氏文集

人其朋友ノ善惡ヲ擇ブハ頗ル難キヲ知
ル故二人ヲ知ルノ明察ナカル可ラズ

○朋友之際欲其相下不

倦
近思錄

朋友ト交ルノ際ダハ相互ニ禮ヲ守リヘリ
下ルヲ怠ルナカレ若シ謙遜ノ心ヲ失ヘ
バ遂ニハ交際ヲ破ル者ナリ

小學修身格言卷之六終
中等科

明治十六年十月三日版權免許
同 年十月十六日刻成出版

定價金十參錢

校閱者

林昇

群馬縣士族

纂輯者

今井匡之

神奈川縣平民

出版者

山中孝之助

東京府平民

發賣者

竹內輝吉

群馬縣平民

群馬縣下高崎本町九番地

